

平成23年度事業報告書

(平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日)

平成24年6月19日(火)

財団法人DNP文化振興財団

平成23年度事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

1 アーカイブ事業

(1) 田中一光アーカイブ

平成23年度は、作品分類を完了しデータベース整備を進行しました。ポスター・版画等の作品に関しては、ほぼ全体を把握しデータベース登録が終わり、今後は入力内容の精査・画像の精緻化を進めます。

①本人作品	ポスター	2,679 点
	版画	245 点
	エディトリアル	1,861 点
	原画類	495 点
	その他(パンフ/V.I.等)	2,324 点
②資料	作品複写写真	1,506 点
	その他資料類	6,061 点
③他作家作品	ポスター・版画等	1,052 点
	その他	1,437 点
④蔵書		2,184 点

(2) 福田繁雄ポスターアーカイブ

平成23年度は、資料の分類・整理を継続して行ないました。

①本人作品	ポスター	1,529 点
	版画	179 点
	その他(クラフト作品等)	97 点
②資料	書籍等	184 点
③他作家作品	ポスター・版画	371 点

(3) 永井一正作品アーカイブ

平成23年度は、資料の分類・整理を継続して行ないました。

①本人作品	ポスター	850 点
	版画	301 点
	エディトリアル	1,121 点
	その他(パンフ等)	738 点
②資料	作品ポジ	492 点
	その他資料類	79 点
③他作家作品	ポスター・版画等	64 点
	その他	37 点

(4) ポスターアーカイブ（平成24年3月末現在）

- 1 収蔵作家：122名（国内作家 74名 海外作家 48名）
- 2 総点数：約9,500点
- 3 平成23年度の受入れ状況：

田名網敬一	71点
杉浦康平	85点
野田凧	212点
タナカノリュキ	112点
横尾忠則	498点

(5) アーカイブ作品寄贈

スイス・チューリッヒ造形美術館に対して永井一正アーカイブ作品を400点寄贈しました。
また、田中一光氏の故郷、奈良県立美術館に平成22年度に寄贈した版画作品に追加してポスター作品130点を寄贈しました。

(6) アーカイブ作品の貸出

○福田繁雄大回顧展 ユーモアのすすめ 巡回展

福田繁雄ポスターアーカイブより210点のポスターを出品しました。

本展には二戸市シビックセンター所蔵の立体作品も展示されています。

主催：各美術館、美術館連絡協議会ほか

＝巡回スケジュール＝

平成23年7月9日～9月4日 三重県立美術館

平成23年9月17日～11月6日 川崎市市民ミュージアム

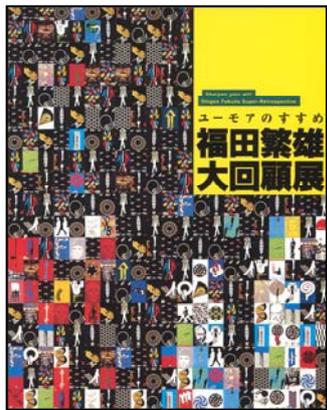
平成23年11月12日～12月18日 いわき市立美術館

平成24年2月21日～3月31日 広島県立美術館

平成24年4月14日～6月24日 高崎市美術館

平成24年7月14日～9月2日 札幌芸術の森美術館

平成24年9月11日～11月11日 岩手県立美術館



○秋田市立千秋美術館

「アメリカ現代版画への招待:CCGA 現代グラフィックアートセンターコレクションより」展

会期: 平成23年9月16日(火)~11月6日(日)

主催: 秋田市立千秋美術館、読売新聞社美術館連絡協議会

概要: タイラー作品から代表作65点を展示。ギャラリートーク(講師:CCGA)の開催。



○福島県立美術館

「がんばろう福島:生きる力・美の力~福島的美術館から」

会期: 平成23年9月10日(土)~10月16日(日)

主催: 実行委員会(福島県内主要美術館6館で組織。CCGAも参加)、NPO 法人福島県立美術館協力会

概要: タイラー作品11点、ポスター作品10点、計21点を出品。ギャラリートーク(講師:CCGA)の開催。



○日比谷図書文化館

「日比谷が熱く燃えた日 団塊の青春グラフィティ」展

会期：平成23年11月4日～12月28日

主催：日比谷図書文化館

概要：ポスター作品8点、雑誌57冊を貸出。

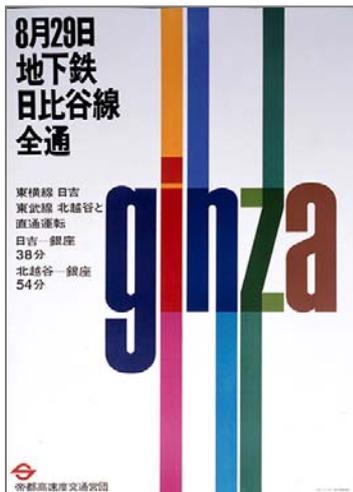
(亀倉雄策、田中一光、福田繁雄、中村誠、横尾忠則、宇野亜喜良)



出品代表作品

左：
亀倉雄策「東京オリンピック」
1962年

右：
横尾忠則「天井桟敷」
1967年



出品代表作品

左：
田中一光「地下鉄日比谷線全通」
1964年

右：
福田繁雄「日本万国博（公式1号）#1」
1967年

2 展示事業

(1) ggg(ギンザ・グラフィックギャラリー)の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル1階、地下1階

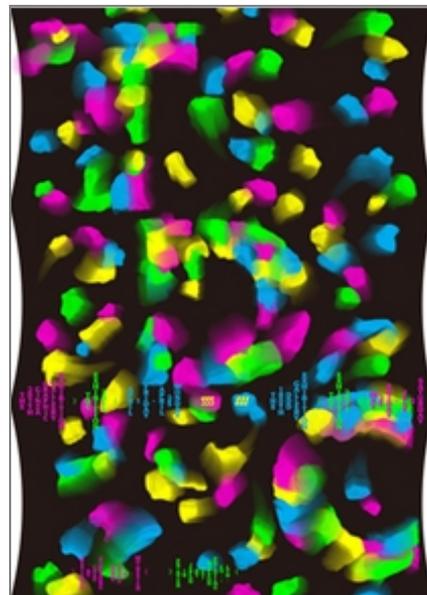
日曜・祝祭日休館 11:00a.m.ー7:00p.m.(土曜日は6:00p.m.まで) 入場無料

■第297回 TDC展 2011

会期: 平成23年4月1日～4月25日

入場者: 4639名、一日平均: 221名

「東京 TDC 賞」の、秋の公募に寄せられた 3146 作品(国内 2191、海外 26 カ国 955)の中から、厳正な審査の結果選ばれた「東京 TDC 賞 2011」。この受賞作品 11 作品をはじめ、ノミネート作品、優秀作品約 100 点を展覧しました。



■第298回 佐藤晃一ポスター展

会期: 平成23年5月9日～5月31日

入場者: 3875名、一日平均: 194名

印刷技術を駆使して表現された鮮明な色彩とグラデーションをつかったポスター作品。「空」をテーマに代表作約100点を一堂に紹介しました。また、このデザインを生み出した印刷指定原稿、版下、カラーチップなど制作プロセスも展示しました。

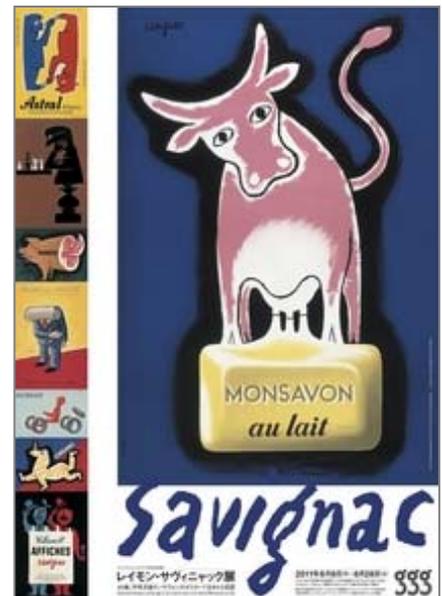


■第 299 回 レイモン・サビニャック展

会期：平成 23 年 6 月 6 日～6 月 28 日

入場者：5340 名、一日平均：267 名

世界のポスター史を飾る代表的な作家レイモン・サビニャック(フランス)の個展を開催しました。牛をモチーフとした「牛乳石鹸モンサボン」のポスターや「ランクハム」の豚のイラスト原画など初期から中期作品約50点を展示しました。



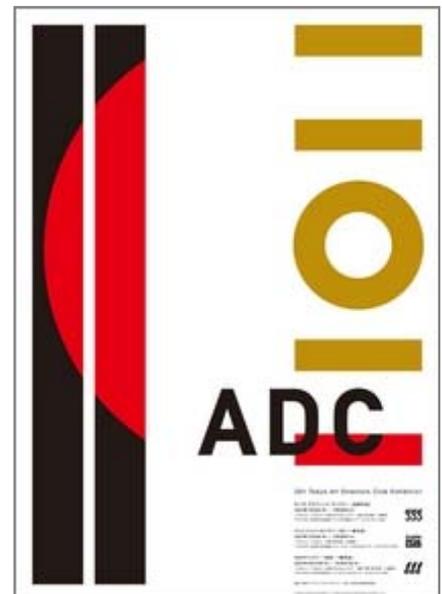
■第 300 回 2011ADC展

会期：平成 23 年 7 月 4 日～7 月 28 日

入場者：6501 名、一日平均：310 名

ADC(東京アートディレクターズクラブ)は、1952年の創立以来、日本の広告界を牽引する活動を続けています。

今年のADC賞は、2010年5月から2011年4月までの1年間に発表されたポスター、新聞・雑誌広告、エディトリアル、パッケージ、CI・マーク&ロゴ、ディスプレイ、TVCMなど、多ジャンルのコンペティションです。gggでは、応募約8500点から選ばれた受賞作品、優秀作品を展示しました。



■第 301 回 グルーヴィジョンズ展

「ジー ジー ジー ジー」

会期：平成 23 年 8 月 4 日～8 月 27 日

入場者：6302 名、一日平均：300 名

伊藤弘氏が代表を務めるデザインスタジオ GROOVISIONS(グルーヴィジョンズ)の作品展を開催しました。オリジナルキャラクターや音楽業界でのグラフィック作品、パッケージ、雑誌のアートディレクション、ブランドアイデンティティなど新しい表現を追及する彼らの作品を展示しました。



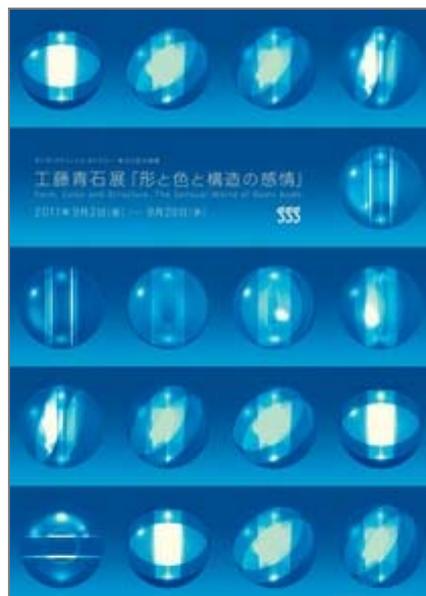
■第302回 工藤青石展

「形と色と構造の感情」

会期：平成23年9月2日～9月28日

入場者：3268名、一日平均：156名

資生堂をはじめとするパッケージデザインで著名な工藤青石（あおし）氏の個展を開催しました。化粧品のパッケージのモックアップをオブジェのように展示したり、商品のブランドづくり、マーケティングや広告表現など「形」や「色」をテーマに繊細かつコンセプトチュアルな企画展でした。



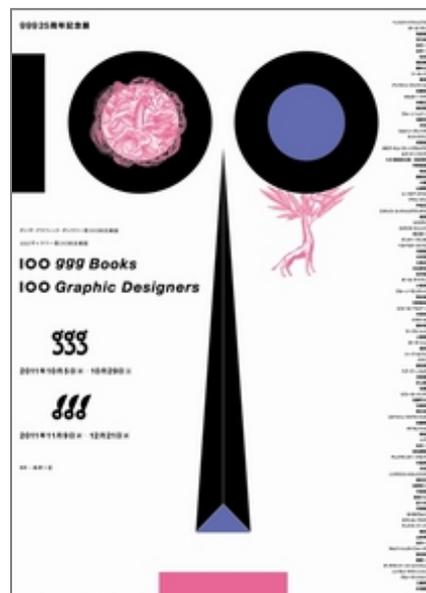
■第303回 ggg25周年記念展

「100ggg Books 100Graphic Designers」

会期：平成22年10月5日～10月29日

入場者：3778名、一日平均：180名

ギンザ・グラフィック・ギャラリーが開設されて25周年をアピールする記念展を開催しました。合わせてggg Books も100タイトルが発行され、その節目としての企画展と位置づけました。ggg Books の作家100人（日本人65人、海外35人）の100点のポスターを展示し、25年間を一望する展示とし、ggg Books を電子書籍化して販売することもスタートしました。

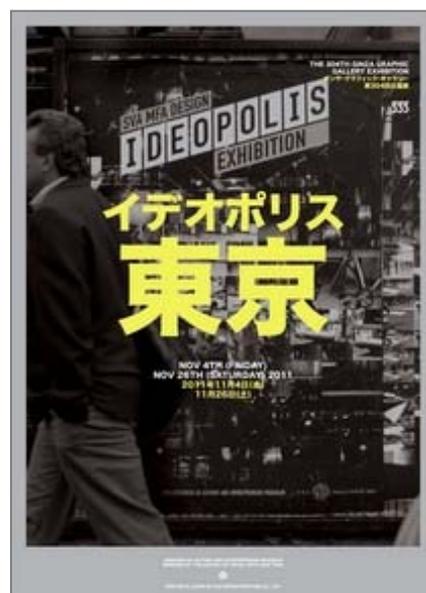


■第304回 イデオポリス東京展

会期：平成23年11月4日～11月26日

入場者：2340名、一日平均：123名

ニューヨークの美術大学であるスクール・オブ・ビジュアルアーツ（SVA）のコンセプトと彼らの卒業制作作品を映像やiPadを使って紹介しました。デザインを幅広く追及し、マーケティング、製品開発、広告表現など企業家としてチャレンジする独創的な姿勢を伝えました。SVA MFA（美術学修士課程）の学科長（リタ氏）に来日いただき、日本の美大学生との対話やギャラリートークなども行いました。

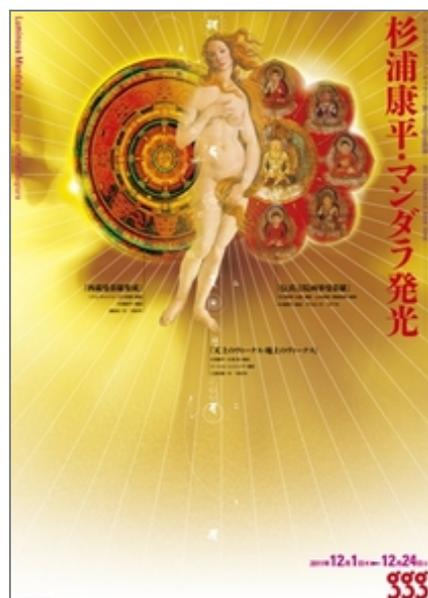


■第 305 回 杉浦康平・マンダラ発光展

会期：平成 23 年 12 月 1 日～12 月 24 日

入場者：3153 名、一日平均：158 名

戦後のデザイン界を代表する杉浦康平氏の象徴的なブックデザインをテーマに企画展を開催しました。「マンダラ」を主題とした超豪華限定本の「伝真言院両界曼荼羅」、「天上のビーナス・地上のビーナス」、「西蔵曼荼羅集成」の3冊の展示に加え、幻想的な映像作品、パネル展示で壮麗な造本の世界を表現しました。



■第 306 回 田中一光ポスター1980-2002 展

「没後10周年記念企画」

会期：平成 24 年 1 月 13 日～2 月 25 日

入場者：8774 名、一日平均：237 名

田中一光氏の没後10周年を記念して2ヶ月間開催しました。2010年に開催した「田中一光ポスター1953-1979」の続編として後半のポスター作品150点を展示しました。当財団のポスターアーカイブを代表する作家として、前回同様、ggg、ddd、CCGAを平成24年度にわたって巡回する計画です。



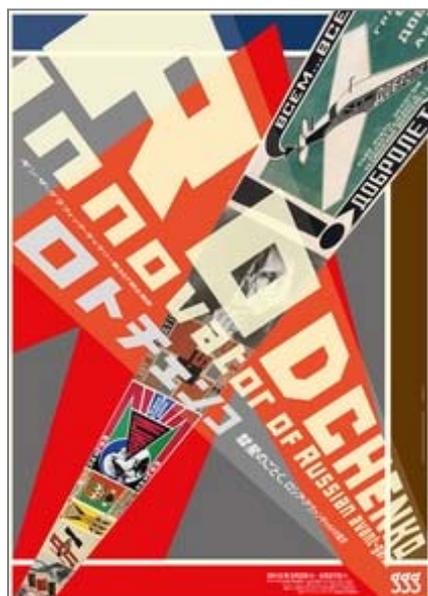
■第 307 回 ロトチェンコ展

「彗星のごとく、ロシア・アバンギャルドの寵児」

会期：平成 24 年 3 月 2 日～3 月 27 日

入場者：5276 名、一日平均：251 名

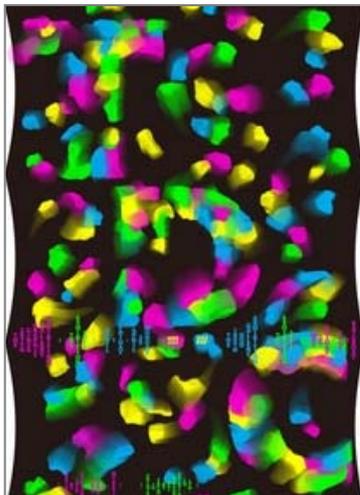
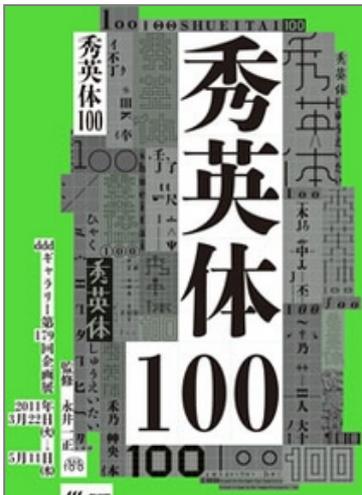
革命後のロシアで、ロシア・アバンギャルドを牽引したロトチェンコの原画、ポスター、グラフィック作品、写真など157点を紹介しました。遠近短縮法と呼ばれる彼の構図など、現代のデザイナーにも多大な影響を与えた貴重な作品を展示しました。



(2) dddギャラリー(大阪)の展示

〒550-8508 大阪市西区南堀江 1-17-28 なんばSSビル1階

11:00a.m. - 7:00p.m. (土曜日は 6:00p.m.まで) 日曜・月曜・祝祭日休館 入場無料



■第179回 秀英体100展

会期: 平成23年3月22日~5月11日

入場者: 2132名、一日平均 66名

gggからの巡回展。dddでは、モリサワを第二会場として展示スペースを拡充しました。

■第180回 TDC展2011

会期: 平成23年5月20日~7月2日

入場者: 2603名、一日平均 81名

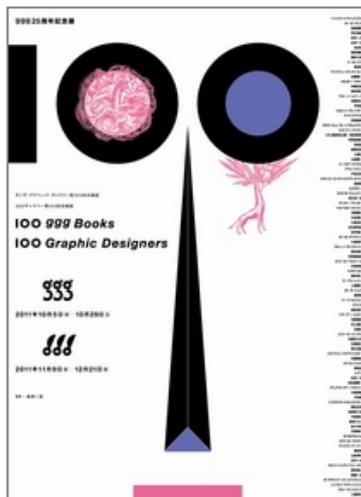
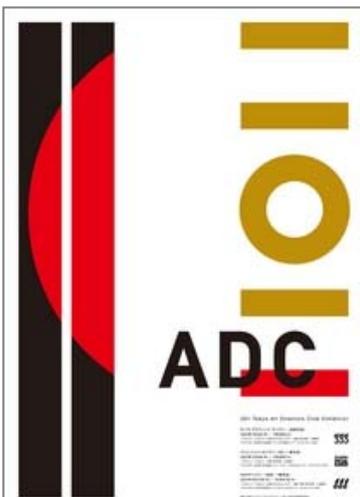
gggからの巡回展。

■第181回 服部一成展

会期: 平成23年7月13日~9月2日

入場者: 2424名、一日平均: 73名

gggからの巡回展。



■第 182 回 2011ADC展

会期：平成 23 年 9 月 14 日～10 月 27 日

入場者：2649 名、一日平均：85 名

gggからの巡回展。

■第 183 回 ggg25周年記念展

会期：平成 23 年 11 月 9 日～12 月 21 日

入場者：1741 名、一日平均 68 名

gggからの巡回展。

■第 184 回 奥村昭夫と仕事展（dddオリジナル企画）

「GRAPHIC WEST 4」

会期：平成 24 年 1 月 18 日～3 月 8 日

入場者：3537 名 一日平均 98 名

関西で活動するグラフィックデザイナーであり、京都大学の客員教授としてユニークなデザイン教育をおこなう奥村昭夫氏の個展を開催しました。企業のロゴマーク作品から大学研究活動のイメージ戦略など、会場内でのパフォーマンス(名刺作り)などユニークな企画となりました。

(3) CCGA 現代グラフィックアートセンター(福島)の展示

〒962-0711 福島県須賀川市塩田宮田 1

午前 10:00～午後 5:00(入館は午後 4:45 まで)

通常は、一般=300 円/学生=200 円/小学生以下と 65 才以上、障害者手帳をお持ちの方は無料となっておりますが、平成 23 年度はすべての方の入館料を無料としました。

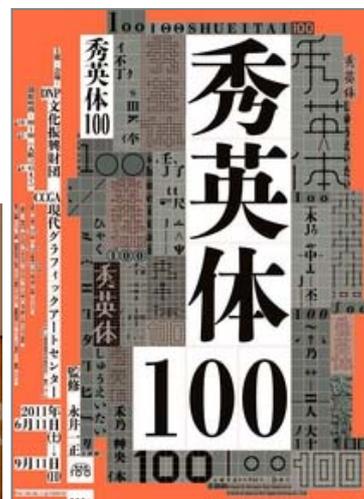
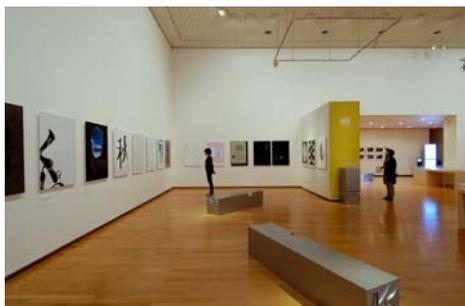
東日本大震災のため平成 23 年 3 月 11 日より 6 月 10 日まで休館しました。平成 23 年 12 月 26 日～平成 24 年 2 月 29 日は通常の冬期休館としました。

■第 54 回 秀英体 100 展

会期：平成 22 年 6 月 11 日～9 月 11 日

入場者：468 名 一日平均 5.9 名

gggからの巡回展



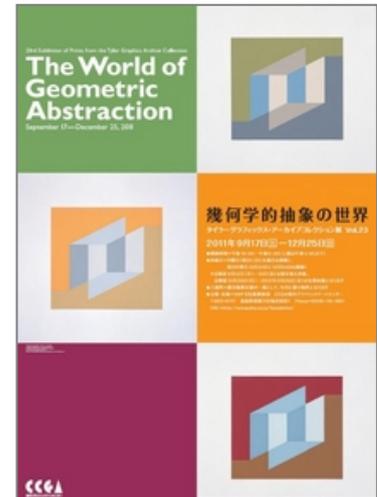
■ 第 55 回「幾何学的抽象の世界」:

タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.23

会期: 平成 23 年 9 月 17 日～12 月 25 日

入場者: 503 名 一日平均 6.0 名

第 53 回の企画展が震災のため会期が9日間となったため、改めて第 55 回展として開催しました。



● 東日本大震災による被災復旧などについて

CCGAは建物・設備などの復旧工事をおこない 6 月 11 日に再オープンしました。

建築関連

5/11～6/5 の工期で建築構築物関連の災害復旧工事を実施。

- ・ 内装ひび補修(パテ埋め+塗装)
- ・ 展示室天井(3m 天井部)補修
- ・ 照明器具、空調器具等の落下防止対策工事
- ・ 外構敷石補修
- ・ その他細部の補修・調整工事

収蔵庫関連

5/9～12 の工期で収蔵設備関連の復旧工事を実施。

- ・ 破損した図面キャビネット 2 台の更新
- ・ 1、2 階の図面キャビネット合計 64 台の組み直しと耐震補強加工
- ・ 2 階木製キャビネットとパレットラックの移動・再配置

空調設備関連

2 階資料保管室の天井裏で脱落しかかっているビルエアコン屋内機の復旧、および屋上設置の空調設備冷凍機(チラー)1 号機の破損した熱交換器の取替え工事。

二階資料保管庫

飛散した図書類の整理。窓際ラック背面への内容物落下防止バー取付工事(工期 5/9～12)。他の棚の前面にはゴムロープによる落下防止対策。

6/11 の再オープンから、2 次避難先として近隣の宇津峰 CC ロッジに滞在中の被災者の方に対し、CCGA 喫茶室を開放しコーヒー紅茶等を無料サービスし、展覧会観覧も無料としました。

3 教育・普及事業

(1) ギャラリートーク(セミナー)

展覧会の開催に合わせて20回のギャラリートークを開催しました。

ggg(東京)会場: 15回 1054名 / ddd(大阪)会場: 7回 538名

ギャラリートークは、会場のセミナー会議室、展覧会場などを使って、展示作家、キュレーターの方々に、講演形式、対談形式などでグラフィックデザイン、アートへの思いを語っていただき、グラフィックアート、デザイン文化の普及促進につなげています。



CCGA(福島)では、来館者の希望に応じて無料のギャラリー解説を聞けるサービスを行なっています。



(2) ggg Books

ggg Books を 4 刊発行いたしました。

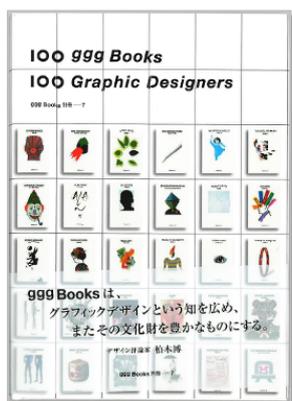


『ggg Books -97 レイモン・サビニャック』: 1,200 円、1500 部

『ggg Books -98 グルーヴィジョンズ』: 1,200 円、1,500 部

『ggg Books -99 工藤青石』: 1,200 円、1500 部

『ggg Books -100 杉浦康平』: 1,200 円、1500 部



ggg Books 別冊7を発行しました。また、ggg Books の電子書籍版・アプリ版(別冊)も販売開始しました。

(3) ggg Books をアピールするホームページを作成しました。

ホームページに ggg Books 電子書籍版、ネット販売を促進するサイトを開設しました。



左: トップページ
中: gggBooks ページ
右: 電子書籍店舗ページ



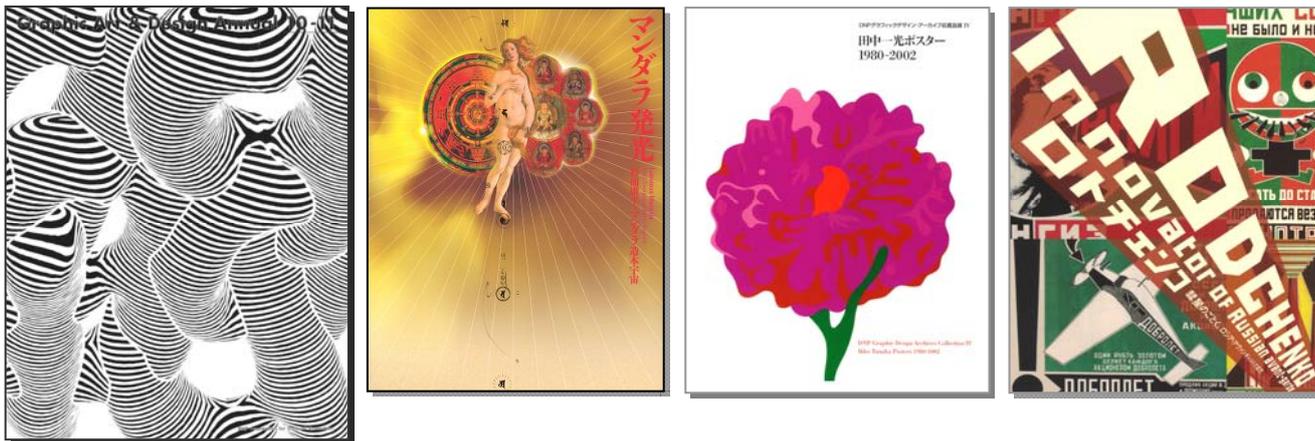
(4) 講師・審査員派遣

○平成24年2月、「第23回田善顕彰版画展」(須賀川市商工会議所主催、須賀川市教育委員会後援)に審査員派遣(1名)

※司馬江漢とならんで江戸後期にわが国でもっとも早く油彩画、銅版画の制作を行なった福島県須賀川市出身の画家、亜欧堂田善(あおうどう・でんぜん、1748-1822)を顕彰する小中学生対象の版画公募展

(5) 図録等の発行と頒布

杉浦康平展、田中一光展、ロトチェンコ展の開催に合わせて、図録を作成しました。



佐藤晃一展、サビニャック展、イデオポリス東京展の開催時に展示内容・作家を補足する冊子を作成し配賦しました。



4 国際交流事業

(1) 韓国(ソウル)で開催された東アジアの文字文化をテーマとしたタイポグラフィのイベント(TYPOJANCHI 2011 SEOUL)に田中一光アーカイブよりポスター「人間と文字」シリーズ15点を出品しました。

会期: 平成23年8月30日~9月14日

会場: ソウル芸術の殿堂・書芸博物館

出展した作品に他作品15点を追加し合計30点を書芸博物館に寄贈しました。



(2) ブルガリアの日本交流月間に首都ソフィアで開催されたイベント「永井一正・田中一光・福田繁雄」3人展に作品提供ほか企画協力をしました。

会期: 平成23年10月24日~11月13日

主催: 劇場ポスター国際トリエンナーレソフィア、

監修: ボジダル・イコモノフ氏。



(3) ggg Books 別冊6福田繁雄編の韓国語版出版に関連する協力

ggg Books 別冊福田繁雄編の韓国語版出版のため許諾などの協力をしました。出版に際して開催された福田繁雄ポスター展に作品57点を展示し寄贈しました。



(4) ADC展の海外巡回

gggで開催したADC展をドイツのフランクフルトとベルリンに巡回しました。

タイトル: ADC展(2011年東京ADCアワード展)

=フランクフルト応用芸術博物館(フランクフルト)

会期: 2012年2月9日~4月15日

=ゲシュタルテン・スペース(ベルリン)

会期: 2012年4月27日~6月3日



(5) AGI事務局サポートについて

AGIとは、国際グラフィック連盟、アライアンス・グラフィック・インターナショナルの略です。

グラフィックデザイナーが国・文化を越えて興味や友情を分かち合う事を目的に設立され、現在世界 32 カ国、約 350 名の会員で構成されています。

○平成23年度のサポート

=AGI 国際本部からのお知らせや情報を要訳し、AGI-JAPAN 会員へ配信しています。

=日本のデザイン情報および会員情報を、AGI 本部のホームページに掲載することで世界のメンバーに配信しています。

=総会へ出席しグローバルなグラフィックデザインの動向を把握することと、総会欠席者への概要報告をサポートしています。

=その他、日本会員と他国会員とのコミュニケーションをサポートしています。

=日本会員から推薦した4名(佐藤可士和氏、永井一史氏、服部一成氏、平野敬子氏)が新たなAGI会員となりました。

5 研究助成事業

○協賛・協力助成

(1) 第23回すかがわ国際短編映画祭へ協賛

すかがわ国際短編映画祭実行委員会／須賀川市教育委員会主催、2011/11、30,000円

(2) 第23回田善顕彰版画展へ協賛

須賀川商工会議所青年部／須賀川市教育委員会後援、2012/2、30,000円

平成23年度、須賀川地区で協賛対象としていた複数のイベントが会期の変更や中止となりました。

○会員参加

事業目的にふさわしい以下の団体の会員となっています。

(1) 東京イラストレーターズ・ソサイエティ

賛助会員

(2) 東京アートディレクターズクラブ

賛助会員

(3) 社団法人日本グラフィックデザイナー協会

賛助会員

(4) 東京タイプディレクターズクラブ

法人・団体会員

6 収益事業

(1) CCGAの入館料ほか

※CCGA入館料は、平成23年度は無料とし、東日本大震災復興の募金協力を呼びかけました。

(2) CCGAサロン利用料 @200円×96名 19,200円

(3) その他収入 16,076円

缶飲料自動販売機コミッション料 他

以上